新規事業採択時評価結果（平成１６年度新規事業化箇所）

担　当　課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：　東　智徳

事業名	東京八王子線（牟礼）（とうきょうはちおうじせん（むれ））	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自：東京都三鷹市牟礼一丁目（とうきょうとみたかしむれいっちょうめ） 至：東京都三鷹市牟礼二丁目（とうきょうとみたかしむれにちょうめ）			延長	０．５㎞

事業概要

東京八王子線は、三鷹市牟礼一丁目から八王子市南浅川町に至る全長約３３ｋｍの骨格幹線道路であり、「多摩東西道路主要４路線」に位置づけられた主要地方道を含むものである。現道の無い本箇所の整備により、同路線は放射第５号線及び甲州街道を経て、都心と連絡することとなり、東京区部と多摩地域の結節強化が図られる。

事業の目的、必要性

区市境から三鷹市、府中市を経て国立市で甲州街道に至る「東京八王子線」の一部であり、都市の骨格を形成し、甲州街道の交通混雑解消に資する路線である。

また、「東京都地域防災計画」の「骨格防災軸」のネットワークに位置づけられており、災害時に避難や救援・救護などの防災活動空間としての機能強化が図られる。

さらに、現道が無いため、道路整備により沿道土地利用の高度化が可能となり、民間事業者の開発投資を誘発することが期待される。

全体事業費	１００億円		計画交通量	24,000台／日
費用便益分析結果	B／C ４．３	総費用 ９６億円 事　業　費：　９２．０億円 維持管理費：　３．８億円	総便益 ４１３億円 走行時間短縮便益：３８７．２億円 走行費用減少便益：　１０．３億円 交通事故減少便益：　１５．８億円	基準年 平成１５年

事業の効果等

・都市の再生（ＤＩＤ区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する）
・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）
・活力ある地域（都心と多摩地域の結節強化等、日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）
・無電柱化による美しい街並みの形成（電線類地中化５ヶ年計画に位置づけられている）
・他のプロジェクトとの関係（多摩地域における都市計画道路の第二次事業化計画に位置づけられている）

関係する地方公共団体等の意見

本箇所の整備により、三鷹台団地や久我山など住居地域内の生活道路を通過する自動車交通の転換が期待できることから、地元からも整備を要望されている。

事業概要図

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。